

2017年  
CTG

建交労道本部夏季闘争速報

No. 18 / 2017年 8月17日

〒060-0909 札幌市東区北9条  
東1丁目北海道労働センター2F  
TEL. 011(711)7377  
FAX. 011(711)7388  
e-mail/kenkoro-do@nifty.com

## 函館支部が夏の「健康相談会」 9会場で17人からの相談 8月11日は「アスベスト被害相談会」

函館支部は8月8～11日に道南各地で夏の「健康相談会」を開きました。毎年お盆の時期に、出稼ぎから帰省する労働者などを対象におこなっているもので、8～10日は郡部の8会場に8人（事務所への相談3人をふくむ）が相談に訪れ、11日は函館市内で「アスベスト被害相談会」として弁護士といっしょに9人からの相談を受けました。相談内容は、振動障害4件、じん肺6件、アスベスト8件、騒音性難聴2件でした。このうち9人（振動障害3人、じん肺4人、アスベスト4人／重複あり）が受診の予約をしました。なお、2人はすでに「じん肺」の診断が出ており、組合で管理区分の申請から準備を進めることにしています。

## 札幌ダンプ支部に2人が新加入

札幌ダンプ支部は8月に2人の新しい組合員を迎えました。2人は「仕事」の要求で建交労に加入しました。

## JR北海道「安全に関する労使合同会議」

8月3日、JR北海道の第15回「安全に関する労使合同会議」が開かれました。議題は北海道新幹線の冬季除雪対策についてでした。昨年は新幹線開業後初の冬季除雪を経験しましたが「例年と比べ降雪量がとても少なかったため、雪害による大きな列車遅延もなく無事に開業1年目の冬季を越えることができたというのが実感だ」（北海道鉄道本部・竹田委員長）といえます。会社からの説明の後、疑問がもたれ建交労鉄道本部からは「高額な融雪剤の散布をやめること」「機材を購入したが効果が小さく今冬季は使用しないこと」について「昨年は降雪量が少なく難なく冬を越すことができたが2年目以降の対応が重要だ。新幹線を目玉商品として運行している以上、降雪に対する対応の不十分さで列車の遅延を発生させたら会社の信用低下につながる。万全の対応を」と意見を述べました。

## 最賃「時間額810円」を答申

中賃目安どおり24円（3.05%）の引き上げ

北海道地方最低賃金審議会は8月5日に、北海道の最低賃金を今年10月1日から、中賃の目安と同額の24円（改定率3.05%）引き上げて「時間額810円」とする答申を北海道労働局長あてに示しました。道労連は談話で「改定額・率とも過去20年で最も高い引き上げとなったことは、最低賃金の引き上げを求める運動と世論が一定反映されているものではあるが、貧困と格差の解消、非正規労働者の低賃金改善など賃金の底上げ、地域経済の活性化という点ではまだまだ不十分である」と指摘しています。